

J-STAGE 公開プレビューチェックのポイント

概要

J-STAGE では電子化された科学技術刊行物の国内および、国際的流通を旨としているため、公開された記事の差し替えは行いません。一度公開された情報は、発信された時点の情報で流通し続けることとなるため、公開前の確認は慎重を期して行う必要があります。

本マニュアルでは、J-STAGE 公開前に必ず行っていただく作業である「公開プレビューチェック」について、ポイントをまとめて記しています。

表示の誤りや修正すべき箇所が発見された場合は、速やかにデータ作成担当者に連絡の上、データファイルを修正して再度アップロードを行ってください。

<確認をはじめの前に>

- ・ 記事情報確認上 PDF ファイルが全ての基準となります。
まずは PDF を別ウィンドウで表示させるか、印刷してご用意いただくことをお勧めします。
- ・ なお、このマニュアルでは XML (BIB-J・BIB-P・FULL-J・FULL-P) の書誌事項表示情報ファイルを データファイル と呼びます。

科学技術情報発信流通総合システムジャーナル
Volume 10 Number 1 pp.2-7 (2008)

Original Article

学術論文誌インターネット公開の重要性
-- J-STAGE Preview の場合 --
山田花子¹⁾、山本太郎²⁾、佐藤智^{1)、2)}

¹⁾ 独立行政法人科学技術振興機構
²⁾ J-STAGE センター

要旨

日本の科学技術研究を国際的なレベルに保ち発展させていくためには、優れた研究開発成果をいち早く世界に向けて発信していくことが重要です。そのためには、現在利用機関でおこなわれている紙の出版物としての学会誌、論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開していくことが重要です。

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」<J-STAGE> では利用機関の情報発信機能を支援するため、電子ジャーナル出版に必要なハードウェア・ソフトウェアを JST 内に用意し、24 時間年中無休で運用をおこないます。利用機関はそのハードウェア、ソフトウェアを利用して、現在発行中の学会誌、論文誌を容易に、かつ低コストで電子化できます。電子化した論文はこのシステムにより、世界中どこからでもアクセスできるようになります。

KEY WORDS : J-STAGE, www, Internet, Electronic Journal

1. J-STAGE の開発目的

科学技術情報の投稿から公開までの一貫した流れをインターネット上に構築することにより、科学技術情報の発信と流通の迅速化と国際化を図ります。

具体的な取り組みとして:

- * 学術雑誌の電子ジャーナル化を支援
- * 日本の科学技術情報の電子化を促進
- * 電子ジャーナルの特長を活かした科学技術情報の発信
- * インターネットによる科学技術情報流通の促進
- * 研究成果の迅速な発信・流通による国内外での研究評価の向上
- * 研究成果の迅速な発信・流通による研究開発の促進
- * 引用情報のリンクによる研究情報の効率的な利用

2. 沿革

科学技術振興事業団 (JST) は、科学技術情報の流通の業務を実施してきた日本科学技術情報センター (1957年8月設立) と基礎的研究、新技術開発と研究交流の促進等の業務を実施してきた新技術事業団 (1961年7月設立) が統合し、これまで両法人がすすめてきた事業を継承・発展させるとともに、科学技術基本法の成立 (1995年11月15日公布) を受け、科学技術振興のための基盤整備と先端的・独創的な研究開発の推進並びに科学技術理解増進事業の推進を目的として1996年10月1日に設立されました。

2003年10月より科学技術振興事業団は独立行政法人科学技術振興機構に移行しました。

原稿受付 : 2005年10月25日
改訂受理 : 2005年12月1日
掲載決定 : 2006年1月26日

参考 : 本文 PDF 画面

1. 巻号一覧画面

日本語の巻号一覧画面では下記の項目を確認します。

① 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル

資料トップ 巻号一覧 特集号 この資料について

J-STAGEトップ / 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル / 巻号一覧

検索 このジャーナル内を検索する 検索 OR 閲覧 10巻 1号 ページ 実行

詳細検索

巻号一覧

10巻, 1号

選択された号の論文の3件中1~3を表示しています

メタデータをダウンロード 全ての抄録を表示する

原着 ②

③ 学術論文誌インターネット公開の重要性

④ 山田 花子, 山本 太郎, 佐藤 智

⑤ 2008年10巻1号 p.2-7

⑥ 発行日: 2008/04/01

⑦ DOI | <https://doi.org/10.1241/xxxx.10.2>

ジャーナル フリー

⑧ ▶ 抄録を表示する PDF形式でダウンロード (864K)

図 1-1 日本語画面 : 巻号一覧

(1) 下記の項目が正しく表示されているか確認してください。

また、リンクが設定されている項目は、正しい画面に遷移するか確認してください。

- ① 資料名
- ② セクション ※入力された場合のみ表示
- ③ 記事表題
- ④ 著者名
- ⑤ 発行年・巻・号・頁
※発行年は、巻作成時に入力した情報です。
- ⑥ 発行日
- ⑦ DOI
- ⑧ 抄録、本文 PDF、※HTML 形式の全画面表示 (※FULL-J 形式のみリンクを表示)

2. 書誌事項画面（書誌事項）

この画面では下記の項目を確認します。

① 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル

資料トップ 巻号一覧 特集号 この資料について

J-STAGEトップ / 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル / 10 巻 (2008) 1 号 / 書誌

② 原著

③ 学術論文誌インターネット公開の重要性と利点
-- J-STAGE Preview の場合 --

④ 山田 花子, 山本 太郎, 佐藤 智

☐ 著者情報

山田 花子
独立行政法人科学技術振興機構

山本 太郎
J-STAGEセンター ⑥

佐藤 智
独立行政法人科学技術振興機構
J-STAGEセンター

⑤ PDFをダウンロード (864K)

メタデータをダウンロード

☐ RIS形式
(EndNote、Reference Manager、ProCite、RefWorksとの互換性あり)

☐ BIB TEX形式
(BibDesk、LaTeXとの互換性あり)

☐ テキスト

ダウンロード方法

発行機関連絡先

⑦ キーワード: 科学技術 情報発信・流通総合システム, ワールドワイドウェブ, インターネット, 電子論文誌

ジャーナル フリー

⑧ 2008年10巻1号 p. 2-7

⑨ DOI <https://doi.org/10.1241/xxxxx.10.2>

☐ 詳細

● 発行日: 2008/04/01 ● 受付日: 2005/10/25

● 公開日: - ● 受理日: 2006/01/26

● [早期公開] 公開日: - ● 改訂日: 2005/12/01 ⑩

図 2-1 日本語画面：書誌事項

下記の項目が正しく表示されているか確認してください。

また、リンクが設定されている項目は、正しい画面に遷移するか確認してください。

- ① 資料名
- ② セクション ※入力された場合のみ表示
- ③ 記事標題・副題
- ④ 著者名
- ⑤ 本文 PDF、※HTML 形式のリンク（※FULL-J 形式のみ表示）
- ⑥ 所属機関名（著者情報の+ボタンをクリックし表示）
- ⑦ キーワード
- ⑧ 発行年・巻・号・頁 ※発行年は、巻作成時に入力した情報です。
- ⑨ DOI
- ⑩ 発行日・受付日・受理日・改訂日（詳細の+ボタンをクリックし表示）

3. 書誌事項画面（抄録、引用文献、電子付録）

この画面では下記の項目を確認します。

<p>記事の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> › 抄録 › 引用文献 (3) › 図 (1) › 電子付録 (1) 	<p>⑪ 抄録</p> <p>日本の科学技術研究を国際的なレベルに保ち発展させていくためには、優れた研究開発成果をいち早く世界に向けて発信していくことが重要です。そのためには、現在利用機関でおこなわれている紙の出版物としての学会誌、論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開していくことが重要です。独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」<J-STAGE> では利用機関の情報発信機能を支援するため、電子ジャーナル出版に必要なハードウェア・ソフトウェアを JST 内に用意し、24 時間年中無休で運用をおこないます。利用機関はそのハードウェア、ソフトウェアを利用して、現在発行中の学会誌、論文誌を容易に、かつ低コストで電子化できます。電子化した論文はこのシステムにより、世界中どこからでもアクセスできるようになります。</p>	
	<p>⑫ 引用文献 (3)</p> <p>1) Koichi FUKUDA, Hiromu SUGIYAMA, Kazuhide MIZOBATA and Liqun SUN: "Experimental Investigation on Flow Structure of Mach 4 Pseudo-Shock Wave in a Square Duct", TVSJ, Vol. 23 (2003), pp. 39-45.</p> <p>2) Masamoto Arakawa, Kiyoshi Hasegawa and Kimito Funatsu; "Selection of Bioactive Conformations and Alignment Rules by 4way PLS Analysis", J. Comput. Aided Chem., Vol. 1 (2000) pp. 1-7.</p> <p>3) Akira Nagai, Yoshinao Kano, Ryoza Funasaka and Katsuhiko Nakamuro; "Mutagenic Characteristics and Contribution of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons to Mutagenicity of Concentrates from Municipal River Water by Blue Chitin Column", J. Health Sci., Vol. 48 (2002) pp. 232-241</p>	
	<p>もっと見る</p>	
	<p>⑬ 図 (1)</p> 	
	<p>⑭ 電子付録 (1)</p> <p>J-STAGE Download (PDF)</p>	
	<p>⑮ © 2008 科学技術情報発信流通総合システム3</p>	

図 3-2 日本語画面 : 書誌事項

下記の項目が正しく表示されているか確認してください。

また、リンクが設定されている項目は、正しい画面に遷移するか確認してください。

- ⑪ 抄録
- ⑫ 引用文献の件数・引用文献内の URL
- ⑬ 図表
- ⑭ 電子付録の件数と内容
- ⑮ 著作権

4. その他の確認

- (1) PDF をプレビュー表示し、PDF が正しいか確認してください。
- (2) FULL-J 形式の場合は HTML で表示された全文情報の確認をしてください。

以上

プレビュー画面確認項目 チェックシート

	表示有無	チェック欄	
		英語画面	日本語画面
1. 巻号一覧画面			
資料名	○		
巻・号	○		
発行年 (編集掲載システムで巻作成時に入力した情報)	○		
セクション	○		
記事数	○		
記事表題	○		
著者名	○		
頁	△		
論文番号	△		
発行日	○		
抄録	○		
PDF のリンク	○		
原稿種別	△		
分野	△		
全文 HTML のリンク	△		
2. 書誌事項画面			
資料名	○		
巻・号・頁・論文番号	○		
発行年 (編集掲載システムで巻作成時に入力した情報)	○		
DOI	○		
セクション	○		
記事表題・副題	○		
著者名	○		
所属	○		
諸日付(公開日)	○		
抄録・キーワード	○		
PDF のリンク	○		
引用文献のリンク	○		
電子付録のリンク	△		
全文 HTML のリンク	△		
著作権表示	○		
エラータのリンク	△		
記事訂正内容	△		
引用文献数	○		
引用文献	○		
電子付録数	△		
電子付録の諸情報	△		

※補足

○...必ず表示される項目

△...表示しない場合がある項目